

令和3年度進行管理・評価シート
白河市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月5日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物について	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的まちなみ修景事業	5
2 市道城山線整備事業	6
3 無電柱化調査事業	7
4 景観学習事業	8
5 リノベーションまちづくり推進事業	9
6 小峰城史跡整備事業	10
7 旧小峰城太鼓櫓等整備事業	11
8 小峰城清水門復元整備事業	12
9 南湖公園史跡整備事業	13
10 白河の歴史・文化再発見事業	14
11 無形民俗文化財活動記録作成事業	15
12 無形民俗文化財等支援事業	16
13 伝統的技術伝承事業	17
14 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	19
2 文化財の保存・活用を行うための施設	20
3 文化財の防災	21
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	23

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
歴史的風致維持向上計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・まちづくり推進課を中心に、都市計画・文化財部門と連携し、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。
- ・庁内推進本部を設置し、歴史的風致の維持向上に係る取組みを調整し、円滑かつ効果的な事業推進を図る。
- ・法定協議会や各審議会などの協力により本計画の実現を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

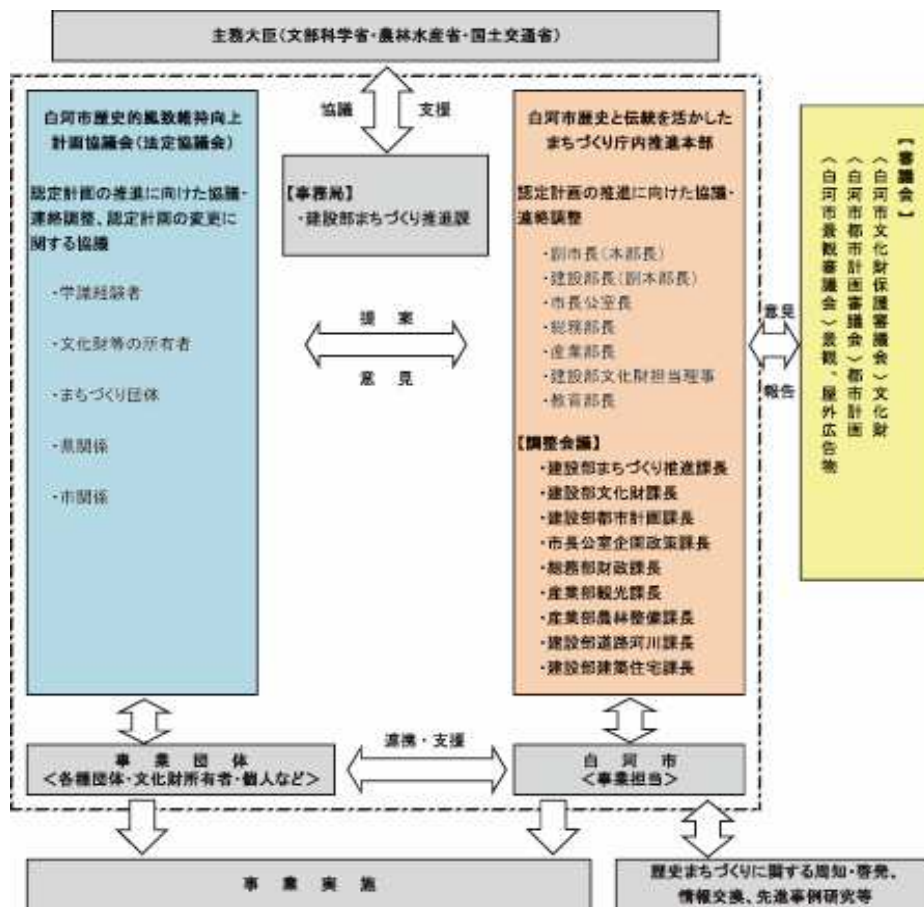
「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、計画変更及び進行管理・評価についての意見を聴取した。

【各会議の実施状況】

- ・白河市歴史的風致維持向上計画協議会(書面会議)
- ・庁内推進本部会議(令和4年2月8日)
- ・庁内推進本部調整会議(書面会議)
- ・歴まち計画担当者会議(まちづくり推進課、都市計画課、文化財課)(令和3年9月2日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
都市計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ○本市の都市計画区域内に位置する重点区域について、都市計画を活用することにより良好な景観の形成を図る。
 ○南湖湖畔の区域には、全国にさがけて歴史的風致維持向上地区計画を導入し、歴史的風致にふさわしい建築物等の整備による歴史空間の活用を進めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地区計画に併せ「白河市南湖湖畔店舗等に係る歴史的風致維持向上地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例」を制定し、建築用途や形態意匠について南湖の歴史的風致にふさわしい建築物の整備を進めている。
 令和3年度は、地区計画内の出店を目的に、空き店舗外壁の色彩を変更する整備が行われた。
 ○令和3年度整備件数:1件(平成29年度からの累計3件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

○良好な歴史的風致を維持向上させるため、重点区域における都市計画の活用を継続する。
 ○南湖公園エリアについて、南湖湖畔の店舗群を維持することが景観上重要であることから、制度の周知や民間等による空き店舗等の利用促進を図る。

状況を示す写真や資料等

○「白河市南湖湖畔店舗等に係る歴史的風致維持向上地区計画内における建築物等の制限に関する条例」の概要良好な景観形成を図るため、南湖の歴史的風致に見合った用途や形態意匠等による建築物の建築を推進している。

【地区計画の範囲】



【用途の制限内容】

規制内容	現行の規制内容	地区計画導入後の規制内容
建築物の用途	○住宅・共同住宅・寄宿舎・下宿 ○兼用住宅(延べ面積の2分の1以上を居住の用に供し、かつ、事務所や食堂、喫茶店、理髪店などの用途でその部分の床面積合計50㎡以下のもの)	○店舗 ・料理店・飲食店(床面積500㎡以内) ・ホテル・旅館(床面積1,500㎡以内) ○店舗兼住宅 ・料理店・飲食店(居住の用に供する部分は延べ面積の2分の1以内)(居住部分を道路に面した位置へ配置しない) ・ホテル・旅館(その用途に供する部分の床面積1,500㎡以内)
容積率	60%	100%
建ぺい率	40%	50%
建築物の高さの最高限度	8.0m以下 2階以下(地階を設けてはならない)	9.0m以下(軒の高さ:7.0m以下) 2階以下(地下を設けてはならない)

【修景のイメージ】



【形態意匠の制限内容】

- ① 湖畔に面する外壁及び屋根は、歴史的風致に調和したものとする
- ② 屋根は二方向以上の勾配屋根とし、原則として平入りの形状とする
- ③ 道路に面した開口部にシャッターを設ける場合は閉鎖的なものを避ける
- ④ 開口部には引き違いの木製格子戸、又はガラス戸の外側に木製格子を設ける
- ⑤ ソーラーパネル等は設置してはならない
- ⑥ 広告物の素材は自然素材を基本とし、南湖の歴史的風致を損なわないこと

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
----	--------	----------------

景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------	--	---

計画に記載している内容
 景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区について、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法に基づく景観地区の指定を検討する。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。

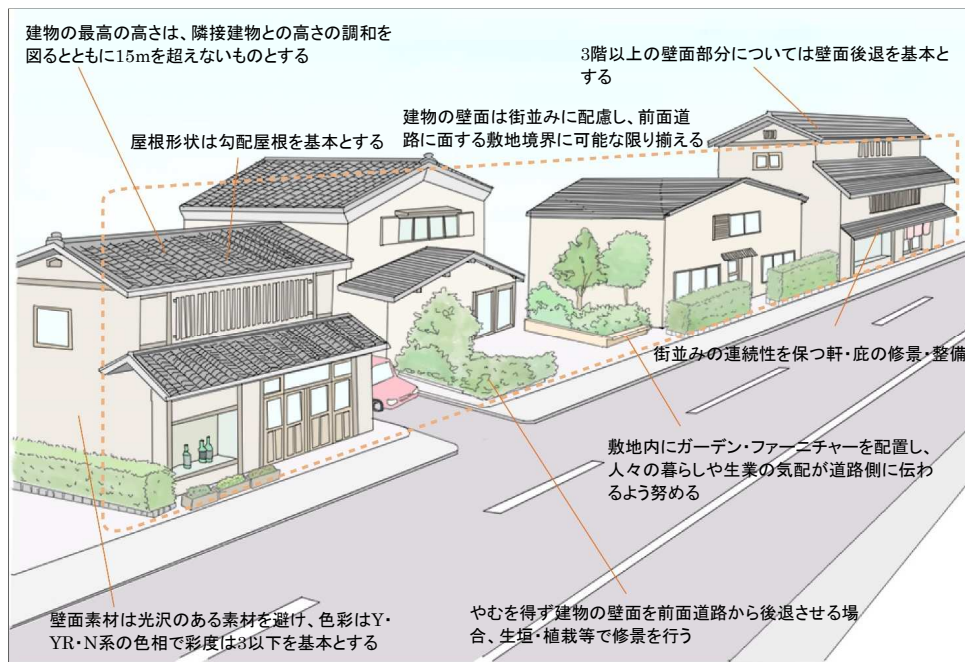
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。
 また、国道294号バイパス整備後の新たな景観軸を加えた良好な街並み景観の形成を目指し、景観形成ガイドラインの一部改定を行った。
 ○令和3年度届出件数:47件(重点区域0件、推進区域1件、景観計画区域46件(重点・推進区域を除く))

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	良好な景観の形成には、そこで暮らす住民の理解と積極的な関わりが必要であることから、景観形成に対する住民の意識の醸成を図るための取組みについて検討を行う。
--	--

状況を示す写真や資料等



▲ 景観形成ガイドライン一部改定による景観推奨基準イメージ(Eゾーン)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
----	--------	----------------

屋外広告物について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成への寄与等のため規制を行ってきたが、より白河市の実情に即した屋外広告物の規制・誘導を図るため、平成25年4月より、独自の屋外広告物条例の制定に向けた取り組みを進め、平成28年4月1日から「白河市屋外広告物等に関する条例」を施行した。
 条例では、景観計画との整合性を図るため、計画に位置づけている景観計画重点区域等(重点区域、推進区域(城下町地区)、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区)において、屋外広告物の面積、高さ、色彩等に市独自の許可基準を設け、屋外広告物の規制・誘導を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は、北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議(開催予定:旭川市)がコロナ禍で書面開催となったが、各自治体担当者と様々な議題に対する意見交換を行った。また、屋外広告物適正化旬間(毎年9月1日～9月10日)に併せ、広報紙への掲載や福島県屋外広告美術協同組合白河支部への協力依頼等により、屋外広告物法及び同法に基づく条例の普及啓発、違反屋外広告物に対する市民や企業の意識啓発を行った。

さらには、既存不適格となっていた屋外広告物等の改修又は撤去に対する支援を行った。

○令和3年度許可件数: 247件(新規17件、更新212件、変更18件)

○令和3年度補助件数: 4件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

投影広告物やLEDビジョンによるデジタルサイネージ等、明確な基準がない新しいタイプの広告物が全国的に普及し始めていることから、それらの対応策について検討する。

状況を示す写真や資料等

■ 彩度規制の基準を超過していた屋外広告物の改修



施工前



施工後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的まちなみ修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年(2011)度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業(平成29年度まで)、都市再生整備計画事業(平成30年度～令和2年度)、都市構造再編集集中支援事業(令和3年度～))

計画に記載している内容 良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。
 ○対象エリア:景観形成ガイドラインAゾーン(景観計画城下町地区重点推進区域)、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、白河門前通り景観まちづくり協定区域、横町景観まちづくり協定区域、田町景観まちづくり協定区域
 ○令和3年度補助件数:1件(平成23年度からの累計32件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的まちなみ修景事業のさらなる制度周知により、市補助金の活用推進を図る。
--	---------------------------------------

状況を示す写真や資料等

■建築設備等の修景(白河ハリストス正教会 フェンスの改修)



施工前



施工後

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
市道城山線整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年(2016)度～令和4(2022)年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業(平成30年～令和2年度)、都市構造再編集中支援事業(令和3年度～))

計画に記載している内容 市道城山線は旧奥州街道と小峰城跡を結ぶ重要な路線であり、国道294号バイパスの整備完了に伴い交通量の増加が予想されている。また、当該路線は提灯まつりにおける神社神輿の巡行ルートや屋台・山車の運航ルートであるとともに、沿線には旧小峰城太鼓櫓など歴史的建造物もあり、歩行スペースの確保と拡幅整備により歴史的風致と調和した街路として改良する。

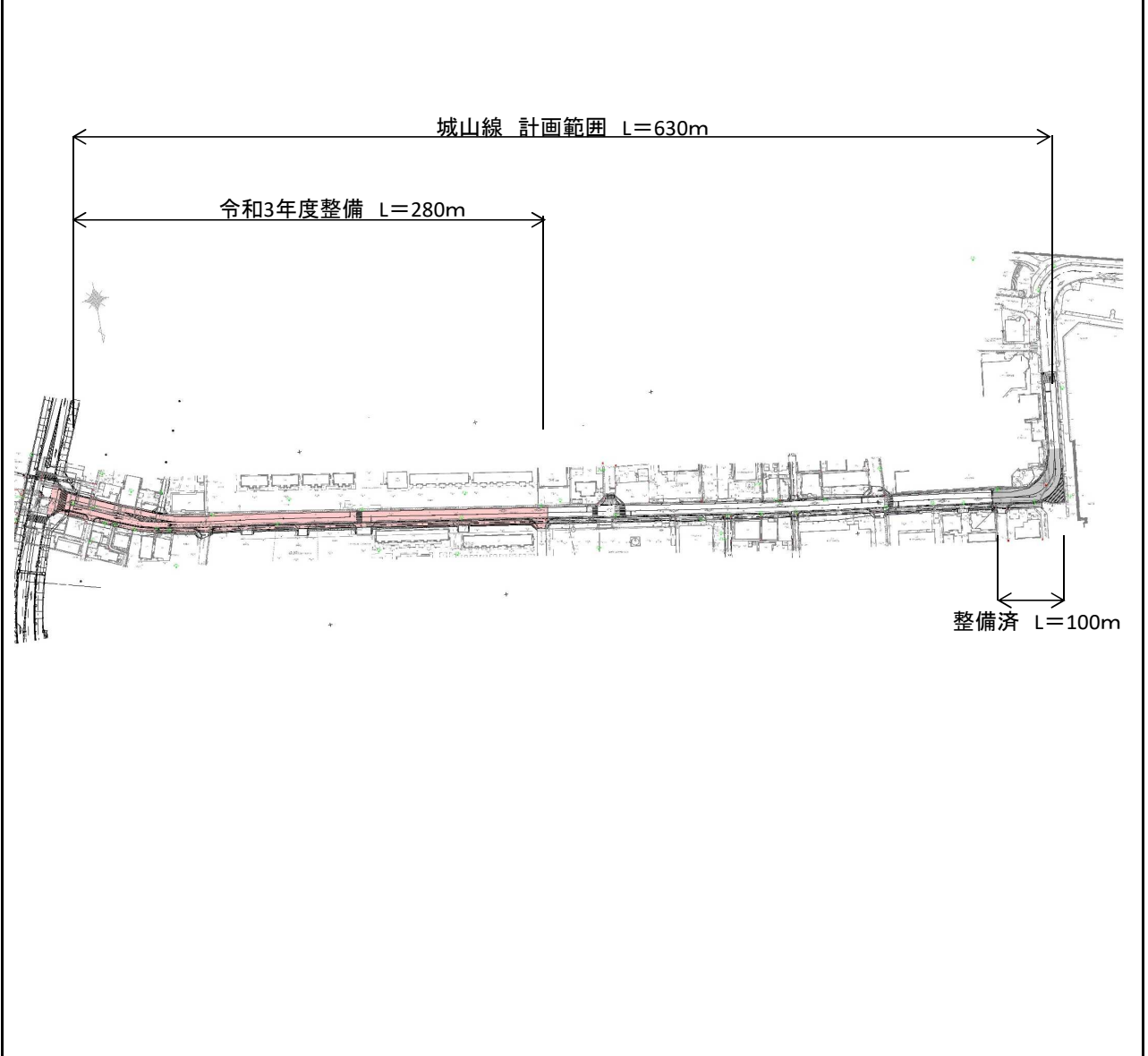
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度までにL=100m完了している。令和3年度はL=280mの整備工事を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
無電柱化調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年(2012)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)及び白河だるま市の運営支障や景観阻害の要因となっている旧奥州街道(国道294号)の電線・電柱類について、道路管理者・事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在の道路管理者は福島県であり、国道294号白河バイパス完成後に白河市へ移管される予定となっている。このため、県の無電柱化推進計画への登録や無電柱化協議会での調整など、事業実施に向けた取り組みについても、道路管理者が福島県から白河市へ移管された後に進めていくことになる。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況

景観学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	--	---

事業期間 平成29年(2017)度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 次世代を担う子供たちに「まち」や良好な「景観」に対して関心を持たせ、景観やまちづくりへの意識を高めてもらうことを目的として、小学生を対象とした景観学習事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の3つの小学校を対象に、日本大学工学部建築学科住環境研究室の協力により、景観に関する講義やまち歩きを行った。
参加者数:3校 94人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業の実施には多くの人員が必要であるため、現在は一部の学校のみで開催となっていることから、実施方法の見直しや新たな景観啓発事業の実施について検討を行う。
--	--

状況を示す写真や資料等

対象校		関辺小学校	釜子小学校	白河第一小学校
学年・児童数		5年生 22名	4年生 25名	6年生 47名
日程	1日目／講義・まち歩き	令和3年6月1日(火)	令和3年6月14日(月)	令和3年9月6日(月)
	2日目／レポート作成	令和3年6月10日(木)	令和3年6月22日(火)	令和3年9月22日(水)
	3日目／授業参観	—	—	令和3年10月9日(土)



▲ 景観に関する講義(白河第一小学校)



▲ まち歩き(釜子小学校)



▲ レポート作成(関辺小学校)



▲ 授業参観での発表(白河第一小学校)

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
リノベーションまちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年(2020)度～令和4年(2022)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	セミナーやワークショップ等を通じて、民間が主体となった取り組みを推進する仕組み作りを行い、中心市街地活性化基本計画区域内に集積している歴史的建造物等を積極的に活用する機会を創出する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
リノベーションまちづくりの実践者を講師として招き、実例から学ぶセミナーを1回開催した。まちなかに実在する歴史的建造物等を対象に、リノベーションまちづくりの第一人者である講師陣からアドバイスを受けながら、エリアの価値をあげるビジネスプランを立案するワークショップを3日間開催した。最終日には、ビジネスプランを物件オーナー等に発表する「公開プレゼンテーション」を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ワークショップで提案された歴史的建造物を活用したビジネスプランの実事業化に向けた支援を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<p>【しらかわりノベ義塾事前公開セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■期 日:令和3年7月7日(水) ■場 所:市立図書館りぶらん 地域交流会議室 ■講 師:(株)ハバタク 代表取締役 丑田 俊輔氏 (株)ブルースタジオ クリエイティブディレクター 大島 芳彦氏 ■参加者:53名(会場 33名、オンライン 20名) 			
			
		▲事前公開セミナー	
<p>【しらかわりノベ義塾まちづくり実践講座(ワークショップ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■期 日:令和3年11月11日(木)／オンライン予習講座 令和3年11月20日(土)、21日(日)／まちづくり実践講座 ■講 師:(株)ブルースタジオ クリエイティブディレクター 大島 芳彦氏 (株)See Visions 代表取締役 東海林 諭宣氏 Helvetica Design(株) 佐藤 哲也氏 ■参加者:12名／実践講座 29名／公開プレゼン聴講(内オンライン 7名) 			
			
▲実践講座		▲ワークショップ	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
小峰城史跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年(2015)度～令和12(2030)年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 本市のシンボルとして、史跡の価値をさらに高めるため、平成26(2014)年度に策定した『史跡小峰城跡整備基本計画』に基づき事業を実施する。具体的には、①本丸周辺、②石垣修復、③東側丘陵の整備をそれぞれ進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

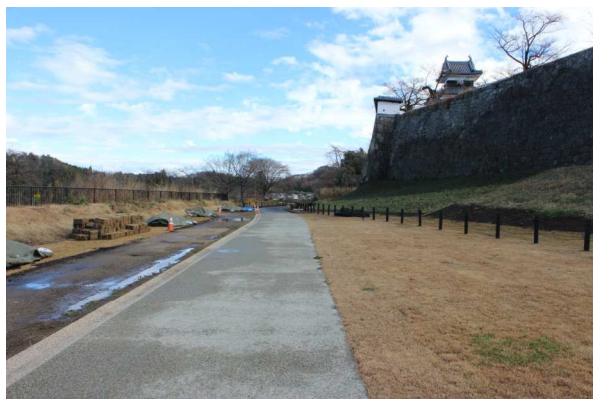
令和3年度は、本丸の北側に位置する帯曲輪の北側中央部から矢之門跡にかけて整備(延長約100mの園路舗装、ヤブラン・芝等の植栽、四阿の設置、ロープ柵の設置等)を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も整備にあたっては、遺構の保全を図り、景観にも配慮しながら実施する。

状況を示す写真や資料等



▲園路整備状況



▲園路整備状況



▲矢之門跡礎石確認状況

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
旧小峰城太鼓櫓等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年(2019)度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業(令和2年度))、都市構造再編集中支援事業(令和3年度～)		
計画に記載している内容	旧小峰城太鼓櫓は、小峰城の建築群の中で唯一現存している貴重な建築物であるが、経年劣化および震災の影響により、保存状態が悪化している。このため、旧小峰城太鼓櫓を解体移築し、国指定史跡小峰城跡と一体的に整備していくとともに、街なかの回遊性向上のため、公開・活用を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、移築復元の方針(部材の再利用の可否等)を判断する上で参考となるデータを得るため、木材カルテの作成及び木材分析を実施した。また、昨年度解体調査した太鼓櫓の移築復元工事および環境整備(休憩所新築、園路整備等)に着手した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	移築復元にあたり、史跡への影響に配慮した基礎工事を行うなど、文化財の価値を減じないように、旧材を極力利用しながら、復元工事を実施する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

部材名	柱(③E)	階層	1階	2階	
配置位置	屋根(棟木・母屋・軒桁・小屋梁・垂木・小屋梁・隅木)				
	軸部(通し柱・管柱・副定石・間柱・梁・椽太・大引・貫)				
	内装(鴨居・長押・床柱・床板・床縁・前板)				
	外装(雨戸・戸袋)				
	基礎(根太・大引・土台・床家)				
その他()					
長さ	縦長 4610 cm	横長	cm	幅(奥行)	cm
年代	江戸時代、明治時代、昭和時代、昭和時代(戦後の復興)、その他				
木材の種類	ケヤキ、ヒノキ、(丸)杉、ナラ、その他()				
墨書	内容: ()				
その他痕跡					
木材の問題点	経年劣化による木材腐食	<input type="checkbox"/>			
	浸水による木材腐食	<input type="checkbox"/>			
	虫害による木材腐食	<input type="checkbox"/>			
	その他()	<input type="checkbox"/>			
	評価	A 現状のまま再利用が可能である B 加工・補修して再利用が可能である C 新補材への交換が必要だが、他の場所で転用が可能である D 新補材への交換が必要で、転用も不可能である			
転用先 (Dの場合)					
備考					
調査年月日	令和2年 / 2月 29日	調査記録者	新田真悠		



▲木材分析の様子

◀木材カルテ



▲基礎工事の様子



▲ジオテキスタイル(地盤補強シート)敷設の様子

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
小峰城清水門復元整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年(2020)度～令和6年(2024)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 清水門は、小峰城の主郭部への入口に位置する大手門・前御門に並ぶ規模の門であり、その重要性から「史跡小峰城跡整備基本計画」において、復元対象と位置付けられている。令和6年(2024)度の復元整備完了を目指し、調査研究や文化庁との協議、各種設計を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は、清水門復元整備に向けた基本設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和4年度は実施設計を行う。令和5年度から予定している建築工事を円滑に進めるために、希少である樺の大柄材の確保を4年度から行う。

状況を示す写真や資料等



▲清水門跡現況(写真中央、南から)



▲基本設計打ち合わせの様子



▲清水門の位置(奥州白河城下全図:白河市歴史民俗資料館蔵)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
南湖公園史跡整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年(2017)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	史跡名勝としての価値をさらに高めるため、平成29年(2017)度に策定した『史跡名勝南湖公園整備基本計画』に基づき事業を実施する。具体的には、園路整備、水環境の改善、樹林環境の改善を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、北東湖岸の西側から中央部にかけての園路整備を実施した。園路は、車イスでの利用を考慮し、幅1.5mを基本として延長約120m、自然砂樹脂舗装で行った。園路については、樹木医の指導・助言を得ながら、極力樹根を避ける法線を検討し、支障となる枝の剪定についても助言を受けて実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「史跡名勝南湖公園整備基本計画」に基づき、史跡名勝南湖公園整備指導委員から助言を得ながら引き続き整備を行う。		
状況を示す写真や資料等			



▲南湖公園整備指導委員会による園路予定箇所の現地確認及び現地指導(令和3年11月30日)



▲樹木医によるアカマツ等の保護対策現地指導(令和3年8月23日)

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度																																																												
項目		現在の状況																																																													
白河の歴史・文化再発見事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																																																													
事業期間	令和3年(2021)度～令和12年(2030)度																																																														
支援事業名	市単独事業																																																														
計画に記載している内容	白河の歴史についての知識と見聞を広め、郷土の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまちを愛する心を育てるため、小学校1年生から中学校3年生を対象に、「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行う。																																																														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																															
小・中学校とも「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用し、白河の歴史や伝統文化について各学年ごとにテーマを設け、各種文化団体や市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習した。新型コロナの影響をあらかじめ見込んで計画を立案したため、中止は茶道体験の一部に留まり、その他は計画通りに実施することができた。学習成果の情報発信活動に力を入れ、小6の学習成果を市立図書館に掲示した。本年度はタブレットを活用して新聞を作成した学校も複数見られた。																																																															
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																														
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も、新型コロナ等の影響をあらかじめ見込んで、実施内容の精選・重点化を図りたい。感染拡大防止対策等を十分に行いながら、協力団体・機関との日程調整をしっかりと行い実施していきたい。																																																														
状況を示す写真や資料等																																																															
																																																															
▲ 小学6年生の「小峰城歴史館」見学 (令和3年10月27日)		▲ 小学5年生の翠楽苑「茶道体験」 (令和3年11月24日)																																																													
		R3 歴史文化再発見事業【実施状況】																																																													
▲ 市立図書館での小6学習成果掲示 (令和3年9月)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校</th> <th>事業名</th> <th>対象校</th> <th>実施校</th> <th>中止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2年</td> <td>読み聞かせ</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>鈴木家住居見学 大信ふるさと文化伝承館見学</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>茶道体験(翠楽園) ※白二小6年生の実施を含む</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>茶道体験(茶道連盟) ※新型コロナの影響により中止</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>小峰城・小峰城歴史館 中山義秀記念文学館見学</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>白河の戊辰を学ぶ(出前授業)</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th>中学校</th> <th>事業名</th> <th>対象校</th> <th>実施校</th> <th>中止</th> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>白河の古代</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>松平定信の業績</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>白河の戊辰を学ぶ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>小峰城歴史館見学 ※過年度実施済みのため白二中は対象外</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	事業名	対象校	実施校	中止	2年	読み聞かせ	15	15	0	3年	鈴木家住居見学 大信ふるさと文化伝承館見学	15	15	0	5年	茶道体験(翠楽園) ※白二小6年生の実施を含む	13	13	0	5年	茶道体験(茶道連盟) ※新型コロナの影響により中止	3	0	3	6年	小峰城・小峰城歴史館 中山義秀記念文学館見学	15	15	0	6年	白河の戊辰を学ぶ(出前授業)	6	6	0	中学校	事業名	対象校	実施校	中止	1年	白河の古代	8	8	0	2年	松平定信の業績	8	8	0	2年	白河の戊辰を学ぶ	1	1	0	3年	小峰城歴史館見学 ※過年度実施済みのため白二中は対象外	7	7	0
小学校	事業名	対象校	実施校	中止																																																											
2年	読み聞かせ	15	15	0																																																											
3年	鈴木家住居見学 大信ふるさと文化伝承館見学	15	15	0																																																											
5年	茶道体験(翠楽園) ※白二小6年生の実施を含む	13	13	0																																																											
5年	茶道体験(茶道連盟) ※新型コロナの影響により中止	3	0	3																																																											
6年	小峰城・小峰城歴史館 中山義秀記念文学館見学	15	15	0																																																											
6年	白河の戊辰を学ぶ(出前授業)	6	6	0																																																											
中学校	事業名	対象校	実施校	中止																																																											
1年	白河の古代	8	8	0																																																											
2年	松平定信の業績	8	8	0																																																											
2年	白河の戊辰を学ぶ	1	1	0																																																											
3年	小峰城歴史館見学 ※過年度実施済みのため白二中は対象外	7	7	0																																																											
※ 小学校1年生と4年生は、見学等の事業はないが、各学校ごとに例年通りに実施。																																																															

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
無形民俗文化財活動記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年(2011)度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、写真・映像による活動内容の記録も行った。
 ○令和3年度記録件数:22団体(平成23年度からの累計204団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今年度、調査結果を取りまとめ、報告書を作成した。今後は記録映像の作成・公開などを検討する。

状況を示す写真や資料等



▲舟田の天王祭／白河地域(令和3年8月23日)



▲犬神の如来様／表郷地域(令和3年6月12日)



▲下新城のキュウリ天王祭／大信地域(令和3年7月1日)



▲板倉の阿弥陀様／東地域(令和3年8月16日)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
無形民俗文化財等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年(2009)度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

無形民俗文化財の保存団体等を対象に、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗文化財の保存団体の活動は、後継者不足等の理由により活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、行事を縮小して実施した団体についても、一部支援を行った。

○令和3年度支援件数: 10団体(平成23年度からの累計136団体)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

各団体の要望を把握した上で、より効果的な支援となるよう努めたい。

状況を示す写真や資料等



▲関辺のさんじもさ踊り／白河地域(令和3年7月14日)



▲河東田牛頭天王祭／表郷地域(令和3年6月12日)



▲中新城奉納太鼓／大信地域(令和3年7月1日)



▲釜子の盆踊／東地域(令和3年8月16日)

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
伝統的技術伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年(2012)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会を開催し、修理工法の開発や職人等の人材育成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度:事業実績なし 令和4年度:市が実施する太鼓櫓の移築復元工事を題材に研修会を開催する予定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
ぐるり白河文化遺産めぐり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年(2009)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧城下町のエリアには、歴史的な町並み景観や寺・神社などの歴史的・文化的資源が多く残されている。こうした歴史・伝統・文化に触れながら街なかを回遊することで、地域資源の価値を再認識する機会を提供し、本市の魅力を広く発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【春のイベント】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 期 日: 令和3年5月16日(日)
- 場 所: 南湖公園
- テーマ: 松平定信と南湖十七景

【秋のイベント】

- 期 日: 令和3年11月21日(日)
- 場 所: 小峰城跡(明治20年皆既日食観測地跡)、妙徳寺ほか
- テーマ: 「測量家・市川方静を偲ぶ～測量と歩んだ人生～」
- 参加者: 41人

幕末から明治期に活躍した白河生まれの測量家「市川方静」に縁のある場所を巡りながら、旧奥州街道沿いの歴史的風致形成建造物を紹介した。参加者からは、「日頃歩いていても気づかない所に歴史的な価値があることを知り有意義だった」等の声が聞かれた。良好な街なみ景観や歴史的建造物に対する市民意識の向上が、歴史的風致の維持向上につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



▲コース図



▲明治20年皆既日食観測地(雪見櫓跡)



▲妙徳寺(市川方静の墓所)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修理・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ① 市指定史跡 白河藩大名家墓所 災害復旧工事
令和2年2月の震度5強の地震で破損した、石塔3基、灯籠8基について、都市災害復旧事業費補助金を活用して復旧を行った。
- ② 市指定史跡 境の明神 災害復旧
令和2年2月の震度5強の地震で破損した灯籠2基について、所有者が行った修繕に対し、市文化財保存事業費補助金より助成を行った。
- ③ 県指定重要文化財(建造物) 蘿月庵 災害復旧
令和2年2月の震度5強の地震で、茶室の土壁や土間が破損し、所有者が県補助事業として実施した復旧に対し、市文化財保存事業費補助金により助成を行った。
- ④ 市指定重要文化財(建造物) 共楽亭 屋根修繕
経年により劣化した小羽葺き屋根修繕の年次計画に着手し、西面屋根について部分的な修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財の修繕にあたっては、文化財の価値を減じないように修繕方法を検討しながら行う。

状況を示す写真や資料等



▲白河藩大名家墓所 五輪塔・灯籠破損状況



▲白河藩大名家墓所 五輪塔・灯籠復旧状況



▲境の明神 灯籠破損状況



▲境の明神 灯籠復旧状況

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、小峰城歴史館(旧・白河集古苑)を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史民俗資料館では、白河の歴史と文化を通史的に学ぶことのできる展示を行っている。
 小峰城歴史館では、特別企画展「今井珠泉寄贈作品展」を開催した。
 また、両館とも定期的に展示替えを行い、歴史資料の公開・活用に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

小峰城歴史館は、市の文化財に関する情報発信の拠点として、引き続き効果的な事業を実施する。また、施設の老朽化が進行している歴史民俗資料館については、改修等を検討する。

状況を示す写真や資料等

■歴史民俗資料館(中田7-1)

○来館者数/1,280人(令和4年1月末現在)

○平常展示「白河の歴史と文化」(4/1-3/31)

※臨時休館/館内燻蒸作業(5/11-6/3)



▲歴史民俗資料館展示「白河の歴史と文化」

■小峰城歴史館(郭内1-73)

○来館者数/11,644人(令和4年1月末現在)

【展示室1】

○「小峰城ガイド展示」「小峰城VRシアター」(4/1-3/31)

【展示室2・3】

○「小峰城の歴代城主と美術」(4/1-8/29)

○「今井珠泉寄贈作品展」(11/14-12/19)

○「小峰城の歴代城主と美術」(1/5-3/31)



▲特別企画展「今井珠泉寄贈作品展」

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
----	--------	----------------

文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	--	---

計画に記載している内容 文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに併せ、市指定重要文化財(彫刻)木造阿弥陀如来立像を所蔵する極楽寺(白河市板橋作田)において、初期消火訓練等の火災防御訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域に所在する文化財の保護及び防災意識向上のため、地域住民と連携して、防火体制を確認する「文化財防火デー火災防御訓練」を引き続き実施していく。
--	---

状況を示す写真や資料等

■文化財火災防御訓練

1. 日時:令和4年1月23日 午前9時～午前10時
2. 場所:極楽寺(白河市板橋作田) ※市指定重要文化財(彫刻)「木造阿弥陀如来立像」所蔵
3. 訓練内容
 - ①水消火器訓練 ②消防設備・近隣消火栓の点検
4. 参加者:約40人
 - ①白河消防署 ②白河市消防団 ③極楽寺 ④地元町内会 ⑤白河市



▲ 住民参加の消火器取り扱い訓練



▲ 消防署による消防設備点検

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の向上に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小峰城跡では、市内の小・中学校で実施している「白河の歴史・文化再発見事業」において、小峰城跡災害復旧現場の見学および小峰城歴史館の展示解説を行うとともに、出前講座に文化財課職員を講師として派遣し、文化財の普及・啓発に努めた。また、「歴史民俗資料館講座」を開催し、白河の歴史・文化について学ぶ機会を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	小峰城跡・小峰城歴史館では、引き続き、文化財の普及・啓発事業を実施する。また、小峰城歴史館での特別企画展や歴史民俗資料館の講座の実施により、引き続き市内の文化財について広く周知していきたい。

状況を示す写真や資料等

- 白河の歴史・文化再発見事業
 - 【小峰城跡・小峰城歴史館見学】
市内の15の小学校6年生を対象に公開を行った。
参加児童数:508人
 - 【小峰城歴史館見学者数】
市内の7の中学校3年生を対象に公開を行った。
参加生徒数:330人
 - 【出前講座】
市内の8の中学校1年生・2年生の授業において出前授業を行った。
開催内容:白河の古代(1年生)、松平定信の業績(2年生)、白河の戊辰を学ぶ(東中学校2年生)
開催回数:のべ17回
参加生徒数:1,069人



▲白河の歴史・文化再発見事業
「小峰城歴史館の見学」

- 歴史民俗資料館講座
 - ・令和3年12月～令和4年3月の期間中に5講座開講
 - ・受講者数:65人



▲白河の歴史・文化再発見事業
「修復を終えた小峰城跡石垣の見学」



▲歴史民俗資料館(美術講座)

進捗評価シート		(様式1-5)
評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
小学生 カメラ抱えて まち歩き	令和3年6月1日	NHK福島放送局
より良い景観とは 白河の関辺小児童学習	令和3年6月10日	福島民友新聞
景観守る意義理解 関辺小5年生が「学習」	令和3年6月15日	福島民報
市内で景観学習	令和3年6月17日	福島民報
天王山遺跡(白河)国史跡に 文化審答申 新形状の弥生土器	令和3年6月19日	福島民友新聞
天王山遺跡(白河)国史跡指定を答申 国文化審、県内51件目	令和3年6月19日	福島民報
新型コロナ影響で延期 11月に「しらかわ検定」	令和3年8月24日	福島民報
白河かるた作成へ 遊びながら歴史、文化学んで	令和3年10月31日	福島民報
白河かるた振興委が発足	令和3年11月4日	福島民友
郷土愛試す問題続々 遺跡や戦テーマに白河検定	令和3年11月11日	福島民報
白河検定に120人挑む	令和3年11月12日	福島民友
白河かるた読句募集	令和3年12月17日	福島民報
白河市の文化財保存活用計画 県内初、文化庁長官認定	令和3年12月18日	福島民報
白河市の認定計画 地域で「文化財の保存活用」	令和3年12月18日	福島民友
歴史や伝統を題材に白河かるた読句募る	令和4年1月19日	福島民友
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和4年2月22日(書面会議)	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的資源を活かしたまちづくりの発展を期すために、白河市文化財保存活用地域計画をもとに、文化財全般についての調査研究活動の実施が望まれます。具体的・長期的な調査計画を立てていくことが肝要と思われます。 ・令和3年12月に白河市文化財保存活用地域計画が文化庁の認定を受けたが、相互性や期待する相乗効果等について具体的に伺いたい ・各町に存在する屋台・山車を文化財保存の対象として考えていただきたい。屋台・山車を維持することは、歴史的風致そのものを維持することにつながります。 ・南湖トンネルから小峰大橋までの国道294号が開通することにより、小南湖、旧市街地、白河駅、コミネス、小峰城へのアクセスがよくなると思われます。各進入口となる道路沿いに統一デザインの案内看板などあれば、歴史的風致維持地区のPRになるのではないかと思います。 ・国道294号バイパスの整備が進むにつれて、小峰城北側の石垣が良く見えるようになり、とても迫力を感じます。白河が歴史の街であることが、色々な形で見えて聞こえてとてもうれしく思います。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・白河市文化財保存活用地域計画では、文化財の全体像把握のために、各分野の具体的な調査について、10年間の実施計画を定めております。今後は、適宜見直しを図りながら同計画に従って調査を継続してまいります。また、本計画の認定により、歴史的風致維持向上計画で定められた重点区域の枠を超えて、各地域に残されてきた文化財を地域資源として活用するための基盤が形成されることとなります。今後は、地域資源としての価値が明らかになることで、これまで以上に企画展や解説講座などを通じて、文化財の保存・継承や歴史的風致の維持に対する市民一人ひとりの理解も深まるものと期待しております。 ・各町の屋台・山車は、白河提灯まつりの重要な構成要素であることから、白河提灯まつりの開催に合わせて、各町の屋台・山車のほか、使用される道具なども含めた総合的な調査や現状把握を行うとともに、その状況に応じた方策について検討してまいります。 ・本市の公共施設や観光地への案内・誘導サインにつきましては、「白河市・西郷村サイン統一計画書」に定めるデザイン、色彩等の基本的ルールに基づき、統一感のあるサイン整備を進めております。今後も、利用者にとってわかりやすく、本市のイメージアップにもつながる効果的なサインとなるよう、関係部署と連携を図りながら整備を進めてまいります。 	